

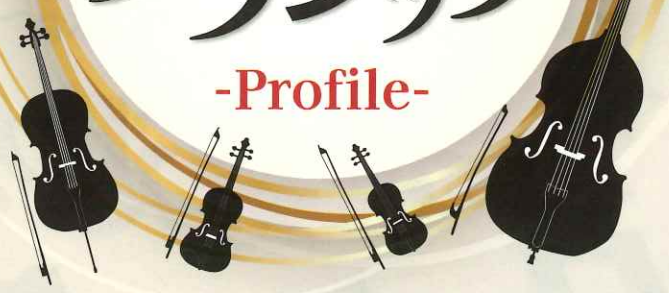


ヴァイオリン
近藤 薫

Kaoru Kondo 東京フィルコンサートマスター

東京藝術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学大学院修士課程修了。キャリアコンサート2002、2005に参加、ムスティラフ・ロストロポーヴィチ、小澤征爾両氏より薫陶を受ける。国内のみならず、イタリア、ドイツ、オーストリア、スペイン、カナダ、中国、台湾などの各地に客演、透明感のある美しい音色、また、繊細さと力強さの両極をダイナミックに表現するその演奏は、各地で好評を獲ってきた。現在、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター、フューチャー・オーケストラ・クラシックコンサートマスター、バンク・オブ・メトロポリタン・オーケストラ首席客演コンサートマスター、長野市芸術館レジデントカルテットリヴァラン弦楽四重奏団主宰、全日本学生音楽コンクール、日本香港国際音楽コンクール、刈谷国際音楽コンクール審査員、東京音楽大学非常勤講師、東京大学先端研特任教授、東京フィルハーモニー交響楽団創設時のコンサートマスター近藤薫は祖父で、三世に渡ってヴァイオリニストという音楽家の家系に育つ、愛知県出身。

～東京フィルトップメンバーによる～
ちょっと身近な
クラシック
-Profile-



チェロ
金木 博幸

Hiroyuki Kanaki 東京フィル首席

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。齋藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。81年に渡独。ティボウ・ヴァルガ氏との二重協奏曲共演で好評を博す。84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。ウィーン・フィル首席チェリスト：エマヌエル・プレバット教授のもとで3年間研鑽を積み、室内楽をバリリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団に師事。ダニエル・シャフラン教授、ミラノ・スカラ座首席チェリスト：アントニオ・ボカテラ教授にも師事。シュワットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送管メンバーとして活動。91年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。東京フィル、東京シティアカデミー、札幌交響楽団等と協奏曲を共演。オーケストラプレイヤーとしての活動に加え、各地でのリサイタル等、ソロ、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。



ヴァイオリン
平塚 佳子

Yoshiko Hiratsuka 東京フィル
フォアスピーカー

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。同大学の推薦により奨学金を得てタンクルウッド音楽祭に参加。ジュレスヴィレ・ホルシュタイン音楽祭、PMFなど、多数の音楽祭に参加。奨学金を得てニューヨークのマネス音楽院に留学。修士課程修了時に最優秀演奏者に贈られるクレゴリー賞を受賞。カーネギー・サイタルホール、ニューヨークのクラシックFM放送WQXR、オーストラリアのグラーフ音大主催「インターナショナル・ワーク」などに出演。ヴァイオリンを篠崎功子、松岡典子、ルイス・カプラン、室内楽をエマソン弦楽四重奏団、オライオン弦楽四重奏団、パメラ・フランク、アラームニエの各氏に師事。2004年より東京フィルハーモニー交響楽団第1ヴァイオリンフォアスピーカーを務める。現在はオーケストラの他、2022年よりクルテット・スベリオルのメンバーとしてペーター・ヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏会を行うなど、幅広い演奏活動を続けている。



ヴァイオリン
会田 莉凡

Ribon Aida 札幌交響楽団及び京都市
交響楽団コンサートマスター

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。第6回ルーマニア国際音楽コンクール全部門グランプリ。第81回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞を受賞。秋吉音楽コンクール室内楽部門、弦楽器部門にてそれぞれ第1位ほか多数優勝。入賞。これまでにRadu Popa、円光寺雅彦、大友直人、広上淳一、下野竜也、川瀬賢太郎各氏への指揮で、ルーマニア国立放送管、東響、東京フィル、東京シティアカデミー、札幌ほか日本各地のオーケストラと共演。宮崎国際音楽祭、サトウ・キネン・オーケストラに毎年参加。11年連続で小澤国際室内楽アカデミー・奥志賀に参加し、小澤征爾氏指揮のもとソロリストやコンサートマスターとしてのマスタークラス、ウィーン・ミュージックフェスティバル、ルーマニア国際音楽祭賞受賞。ディヒラー音楽コンクール、ルーマニア国際音楽コンクール等のコンクールで入賞。日本演奏連盟主催のもと東京文化会館でリサイタルを開催。これまでにヴァイオリンを篠崎功子、村田幸謙の各氏に、ヴィオラを磯村和美、大島亮の各氏に師事。サントリー室内楽アカデミー第6期フェロー修了。現在は国内オーケストラに首席、次席奏者として客演する他、室内楽奏者としても活躍の場を広げている。



ヴァイオリン
城戸 かれん

Karen Kido イタリアの国際コンクール第1位

ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール第1位、カール・ニコルセン国際コンクール第4位、日本音楽コンクール第2位など数々のコンクールで受賞し、都響、日本フィル、バーデン・バーデン・フィル等と共演。東京藝術大学を首席で卒業し、同大学院修士課程修了。これまでに、原田幸一郎、漆原朝子、堀正文の各氏に師事。徳永二男、レジス・パスキエ、ドムニク・カン、川崎雅夫の各氏より薫陶を受ける。現在はソロや室内楽、オーケストラへの客演のほか、自らコンサートを企画するなど精力的な活動を展開。宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭、CHANEL PYGMALION DAYS等への出演を重ねる。ラ・ルーチェ弦楽八重奏団、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。使用楽器は個人貸与によるビエトロ・グアルネリ1698製。



ヴァイオリン
辻 愛結実

Ayumi Tuji 東京芸術大学大学院

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。学内にて宮田亮平奨学金、安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。モーニング・コンサート出演者に選抜。藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。現在、同大学大学院在学中。第26回日本クラシック音楽コンクール全国大会第2位(最高位)、入賞者披露演奏会にてオーケストラと共演。第5回全日本芸術コンクール関東大会第1位、全国大会金賞。第28回KOBE国際音楽コンクール弦楽器C部門優勝。クワスター・ジュニア国際ヴァイオリンコンクールディプロマ賞などその他受賞。第31回河口湖ヴァイオリンセミナーにて優秀者に選出。小澤国際室内楽アカデミー・奥志賀、ミュージック・アカデミー・inみやぎ、鶴沼音楽アカデミー、田中千香子室内管弦楽団メンバー。使用楽器は個人貸与によるビエトロ・グアルネリ1698製。



ヴァイオリン
須田 祥子

Sachiko Suda 東京フィル首席

桐朋学園大学在学中にヴァイオリンからヴィオラに転向、同大学を首席で卒業。第23回ヴァトリ・グイ国際コンクールを始めとする多数のコンクールで第1位優勝。2015年5月「題名のない音楽会」及び2016年11月「らららクラシック」ヴァイオリン特集、同月の「題名のない音楽会」の「弦楽四重奏特集」に出演。2016年11月には「報道ステーション」で白川水柱群の前からヴァイオリンだけのソロ演奏が生中継された。また2018年6月NHK-FM「きらクラ」の水戸での公開収録。2020年2月には「今日は一日ピアノ三昧」にゲスト出演。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、「アコースティック弦楽合奏団」「サンフォニエックタムよし」のメンバーを務める他、ピアノ演奏団「SUDA48」を主宰。洗足学園音楽大学非常勤講師。CD「ヒオラは流し」シリーズ、「びおらさんまい」[VIOLA INFINITY]をリリース。レッシュ4スタンス理論マスター級トレーナー。



ヴィオラ
森野 開

Kai Morino 新日本フィルゲスト首席

1997年生まれ。5歳よりヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大学入学後ヴィオラに転向し卒業。成績優秀者による卒業演奏会、室内演奏会等に選抜される。霧島国際音楽祭、ヴィオラスペース若手演奏家のためのマスタークラス、ウィーン・ミュージックフェスティバル、小野文化財団ヴァイオリン塾、プロジェクトQ18章、丹波篠山ヴァイオリンマスタークラス等に参加。研鑽をつむ。第41回霧島国際音楽祭には奨学生として参加。霧島国際音楽祭賞受賞。ディヒラー音楽コンクール、ルーマニア国際音楽コンクール等のコンクールで入賞。日本演奏連盟主催のもと東京文化会館でリサイタルを開催。これまでにヴァイオリンを篠崎功子、村田幸謙の各氏に、ヴィオラを磯村和美、大島亮の各氏に師事。サントリー室内楽アカデミー第6期フェロー修了。現在は国内オーケストラに首席、次席奏者として客演する他、室内楽奏者としても活躍の場を広げている。



チェロ
高木 慶太

Keita Takagi 東京フィルゲスト首席

北海道生まれ。6才よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科(共学)及び桐朋学園大学卒業。同大学院在学中に桐朋オーケストラ・アカデミー・ファンデーションの奨学金を得てベルリン芸術大学に留学。第74回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位入賞。ドイツ、ベルリンで開催されたドミニコ・カプリエリチェロコンクールにて3位入賞。第106回日演連新人演奏会において札幌交響楽団と、大学院大学在学中に桐朋オーケストラ・アカデミーと共演。室内楽においては、クルテット・エクスプローチェ、東京チェロアンサンブル、古澤巖幸いる品川カルテットのメンバーとして定期的にツアー、演奏会を行う。チェロを上原与四郎氏、毛利伯郎氏、岩崎洗氏、マルクス・ニコシュ氏に師事。読売日本交響楽団に13年在籍。在籍中約2年間首席代行奏者を務める。現在は同楽団を退団しフリーランスとして活動し、ソロ活動や室内楽、国内の主要オーケストラの客演首席として多数出演。桐朋学園大学音楽部非常勤講師。



コントラバス
黒木 岩寿

Iwahisa Kuroki 東京フィル首席

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。1987年安宅賞受賞。1988年福島賞受賞。小林研一郎指揮読売日本交響楽団、ドイツの重鎮ハンス・マルティン・シュナイト指揮神奈川フィルハーモニー管弦楽団、野尻典司指揮トウキョウモーツァルトプレーヤーズと協奏曲を共演。2009年からは東京フィルハーモニー交響楽団に転籍し首席奏者に就任。トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ、パロク・バンドのバシメント・ジャパのメンバーを経て、現在ラ・ストラヴァンツァ東京主宰の他に東京グランド・ソロリストのメンバー。室内楽では、マルタ・アルゲリッチ、ポール・マイエ、モディリアーニ・カルテット、アルデオ・カルテット、ジョセフ・リン等共演。1990年から2004年まで東京藝術大学音楽学専攻非常勤講師。現在は、桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学、大分県立芸術文化短期大学講師として後進の指導にもあたっている。2016年よりミュージアムのプロデューサー。2019年より長野市芸術館のシーズン・プログラム・プロデューサーに就任。